

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【四半期会計期間】	第44期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社朝日ラバー
【英訳名】	ASAHI RUBBER INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊藤 潤
【本店の所在の場所】	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
【電話番号】	048(650)6051(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部長 堀 信幸
【最寄りの連絡場所】	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
【電話番号】	048(650)6051(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部長 堀 信幸
【縦覧に供する場所】	株式会社朝日ラバー 福島工場 (福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第3四半期 連結累計期間	第44期 第3四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	3,596,369	4,192,611	4,789,872
経常利益(千円)	113,395	259,959	139,510
四半期(当期)純利益(千円)	78,113	144,638	76,763
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	75,949	227,697	141,407
純資産額(千円)	2,900,353	3,157,007	2,965,789
総資産額(千円)	7,360,243	8,022,106	7,517,409
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	17.17	31.80	16.88
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.4	39.4	39.5

回次	第43期 第3四半期 連結会計期間	第44期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.28	14.75

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策、欧米経済の緩やかな回復などにより、景気は回復基調にあるものの、為替の円安傾向による輸入物価の上昇、消費税増税の駆け込み需要の反動による消費減少懸念など、先行きは不透明な状況であります。

このような中、当社グループは、事業領域として自動車・情報通信・医療介護の各分野への経営資源の集中を図り、お客様の視点に立ったものづくりを進めるとともに、独自の開発製品の販売拡大に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は41億9千2百万円（前年同四半期比16.6%増）となり、利益面では、連結営業利益は2億3千9百万円（前年同四半期比109.9%増）、連結経常利益は2億5千9百万円（前年同四半期比129.2%増）、連結四半期純利益は1億4千4百万円（前年同四半期比85.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、当四半期は、自動車産業においては、北米や欧州市場向けに自動車の販売台数、生産台数が増加したことに伴い、主にASA COLOR LEDを始めとした自動車関連製品の受注が、引続き増加しました。また、スポーツ用ゴム製品の卓球ラケット用ラバー、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品の受注が堅調に推移いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は33億3千3百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。またセグメント利益は3億6千3百万円（前年同四半期比64.8%増）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、下期より量産化を予定していた新規製品が、当第3四半期より量産開始となったこと、前期まで顧客の在庫調整等により一部の医療用ゴム製品について、受注が減少しておりましたが、当期に入りその受注が回復してきたこと等から、売上高は増加いたしました。一方、当第3四半期より新規製品が量産開始となったものの、その量産立上げまでにかかるコスト負担等があったことから営業費用は増加しました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は8億5千9百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。また、セグメント利益は5千万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて5億4百万円増加し、80億2千2百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて3億1千3百万円増加し、48億6千5百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1億9千1百万円増加し、31億5千7百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、6千3百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動について重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,500,000
計	11,500,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,618,520	4,618,520	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	4,618,520	4,618,520	-	-

(注)平成25年9月24日開催の取締役会決議に基づき、平成25年12月2日を効力発生日とし、単元株式数を500株から100株に変更しております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	4,618	-	516,870	-	457,970

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 70,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,546,600	45,466	-
単元未満株式	普通株式 1,020	-	-
発行済株式総数	4,618,520	-	-
総株主の議決権	-	45,466	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が300株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社 朝日ラバー	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7-2	70,900	-	70,900	1.54
計	-	70,900	-	70,900	1.54

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,982,546	2,028,001
受取手形及び売掛金	1,042,430	1,522,325
商品及び製品	157,648	155,578
仕掛品	175,373	206,348
原材料及び貯蔵品	88,269	93,037
その他	137,310	99,559
貸倒引当金	1,077	1,618
流動資産合計	3,582,501	4,103,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,178,070	1,118,208
機械装置及び運搬具(純額)	1,012,793	994,572
土地	887,802	887,802
その他(純額)	116,020	128,664
有形固定資産合計	3,194,687	3,129,248
無形固定資産	5,180	9,040
投資その他の資産		
その他	731,707	782,068
貸倒引当金	3,422	3,422
投資その他の資産合計	728,285	778,646
固定資産合計	3,928,153	3,916,935
繰延資産	6,753	1,938
資産合計	7,517,409	8,022,106
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	760,589	926,156
1年内返済予定の長期借入金	1,068,949	1,034,402
未払法人税等	6,724	44,258
その他	343,975	340,891
流動負債合計	2,180,238	2,345,708
固定負債		
長期借入金	1,710,913	1,813,533
退職給付引当金	439,414	475,334
役員退職慰労引当金	209,041	219,789
その他	12,012	10,734
固定負債合計	2,371,380	2,519,390
負債合計	4,551,619	4,865,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	1,998,377	2,106,632
自己株式	45,609	45,705
株主資本合計	2,927,608	3,035,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,087	90,711
為替換算調整勘定	17,905	30,529
その他の包括利益累計額合計	38,181	121,240
純資産合計	2,965,789	3,157,007
負債純資産合計	7,517,409	8,022,106

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,596,369	4,192,611
売上原価	2,641,273	3,050,580
売上総利益	955,095	1,142,030
販売費及び一般管理費	841,005	902,549
営業利益	114,090	239,480
営業外収益		
受取利息	1,086	950
受取配当金	3,709	4,562
為替差益	9,755	15,532
補助金収入	7,426	16,238
雑収入	6,245	8,336
営業外収益合計	28,224	45,620
営業外費用		
支払利息	21,424	16,580
開業費償却	4,525	5,713
雑支出	2,968	2,847
営業外費用合計	28,918	25,141
経常利益	113,395	259,959
特別利益		
固定資産売却益	257	33
特別利益合計	257	33
特別損失		
固定資産売却損	122	-
固定資産除却損	2,111	25,224
減損損失	-	21,808
その他	7,428	32
特別損失合計	9,663	47,064
税金等調整前四半期純利益	103,990	212,928
法人税等	25,876	68,290
少数株主損益調整前四半期純利益	78,113	144,638
四半期純利益	78,113	144,638

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,113	144,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,629	34,624
為替換算調整勘定	6,793	48,434
その他の包括利益合計	2,164	83,059
四半期包括利益	75,949	227,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,949	227,697

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	16,306千円	19,178千円
支払手形(設備関係支払手形を含む)	175,953千円	197,235千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	269,221千円	277,845千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	22,744	5	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	13,644	3	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	22,739	5	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金
平成25年10月22日 取締役会	普通株式	13,643	3	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	工業用ゴム事業 (千円)	医療・衛生用ゴム 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	2,832,050	764,318	3,596,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	2,832,050	764,318	3,596,369
セグメント利益	220,633	73,266	293,899

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	293,899
全社費用(注)	179,809
四半期連結損益計算書の営業利益	114,090

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	工業用ゴム事業 (千円)	医療・衛生用ゴム 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	3,333,507	859,103	4,192,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	3,333,507	859,103	4,192,611
セグメント利益	363,570	50,324	413,895

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	413,895
全社費用(注)	174,414
四半期連結損益計算書の営業利益	239,480

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業用ゴム事業」セグメントにおいて、遊休資産等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、21,808千円であります。

(企業結合等関係)
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	17円17銭	31円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	78,113	144,638
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	78,113	144,638
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,548	4,547

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月22日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額.....13百万円
- (ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月9日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

株式会社朝日ラバー

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 米村 仁志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤原 選 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社朝日ラバーの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社朝日ラバー及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。